

うおづ市薬薬連携通信

対面会議：12月20日開催

次回オンライン、1月11日予定

(11月)

疑義照会（変更有）	141件	退院時連携加算	23件
疑義照会（変更無）	21件	薬剤総合評価加算	4件
トレーシングレポート	20件	薬剤調整加算	2件
入院時薬剤情報提供書	53件		

「会議参加者19名」

- ネクスウェイ社より「アスyak DI ポータル（地域連携機能）を活用した地域内での医薬品在庫情報共有に関するご報告/振り返り」あり（別紙参照）。運用フロー、アンケート結果等参照してください。現在の参加は、12薬局に増えました！
 - ・アンケート結果は概ね良好で、更にブラッシュアップして継続したいと思います。
 - ・p.13「運用方法改善案」について、検討しました。ご確認ください。
- 「入院時服薬情報提供書依頼箋」のFAXは、薬剤部でまとめて送るので、遅くなりません。お薬手帳に予告がある場合は、投薬時に聴取していただくと良いと思います。
- インフルエンザ治療薬が処方されていますので、処方チェックして調剤してください。イナビルの用法用量は、「1日1回 1回に2本使用」となっています。
- 「ノボラピッド・フレックスタッチ」について、1月以降の代替は、薬局にお任せする予定です。疑義照会票にて変更薬剤についてお知らせください。処方箋にコメント入力します。※指定がある場合は、それに従ってください。
- 手術前中止薬の確認・指導にて、お薬手帳に記載がなく病院では「中止薬なし」と判断した患者が、実は残薬のロトリガを服用中であり、それを入院時の初回面談にて発見に至った事例（手術が1か月延期）がありました。残薬調整等で薬品名が手帳に記載されていない場合、病院では分からないことがありますので、保険薬局で気付かれた際はご連絡をお願いします。また入院時服薬情報提供書にも、使用薬剤を記載して送信していただくと、病院でも確認できますので、ご協力をお願いします。

（薬局より）

- 高額・稀な新規薬剤について、事前に連絡できないか？
 - 退院時であれば、薬剤師が情報を得ることが出来る。しかし外来で開始だと紹介状に従って処方することも考えられ、難しいと思われます。検討してみます。
- トルバプタンOD錠について、新規処方の場合、疑義照会が必要か？
 - 疑義照会をお願いします。

~~~~~  
 会議終了後、ミニ研修会「がん患者の疼痛緩和」を行い、薬剤部の上島より「がん患者で必要となる疼痛治療薬について（別紙参照）」の講演がありました。